

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	木質バイオマスによる地方創成モデルの検討小委員会	主 査 名：浅野良晴 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：伊香賀俊治 主 査 名：
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>低炭素化社会の推進、ZEH・ZEB 化の促進に対する再生可能エネルギーとしての位置づけを考えたとき、木材と木質バイオマスの需要は活性化されなければならない。然るに生産と流通の問題が顕著である。全国の市町村でその解決に取り組もうとしている状況を明確にし、日本建築学会で解決方法のモデル化とその評価手法を検討していくことを目的とする。</p> <p>初年度：初年度：地域産出の木質ペレット等バイオマス燃料の安定的なサプライチェーンの開拓及び需要に見合った生産・集荷・流通体制の構築を目指している各県及び市町村を摘出する。</p> <p>2 年度：初年度の成果を踏まえ、木質バイオマス流通のモデルとなる取り組みを行っている地域において、地方創成のモデル化の枠組みを探り、必要な要点を分析する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：浅野良晴 幹事：上田里絵 委員：大野航輔，北村俊夫，小林謙介，山海敏弘，武田孝志，長野晃弘，早川慶朗，麓英彦，山田昌宏，森拓郎，五十田博，岩井一博	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 木質バイオマスのサプライチェーンの多元化の必要性、需要の多様化が重要であることが明確にされた。 2. 第 4 世代地域熱供給を検討すべきであることが分かった。 3. 達成度は十分であった。
委員会活動の問題点・課題	1. 国内だけでなく、デンマークなどの外国の事情を調査することが必要である